

セルロイド人形・パプー（パープー）

下表は、昭和25年～30年におけるセルロイド玩具の輸出実績で、(財)日本輸出玩具検査協会から発表された表です。25～27年は合計金額だけで、品目の内訳28年からになっています。

千円以下切り捨て

| 年度 | 昭和25年 | 昭和26年 | 昭和27年 |
|---------------|----------------------|-----------------------|---------------------|
| 合計 | 324,585,千円 | 392,993,千円 | 366,942,千円 |
| | | | |
| 年度 | 昭和28年 | 昭和29年 | 昭和30年 |
| 合計 | 414,218千円 | 583,644千円 | 448,284千円 |
| 自由人形 (数量) | 114,971千円 (536千打) | 106,006千円, (606千打) | 89,390千円 (443千打) |
| パプー人形 (数量) | 42,791千円 (247千打) | 52,728千円 (391千打) | 22,533千円 (206千打) |
| 塗込人形 | 26,538千円 | 34,428千円 | 27,925千円 |
| 着付け人形 | 26,309 " | 52,371 " | 43,134 " |
| 動物 | 27,329 " | 39,004 " | 29,189 " |
| 水物・浮物 | 7,910 " | 7,788 " | 6,507 " |
| 笛入り鳴物 | 5,798 " | 15,423 " | 18,213 " |
| 柄々 | 18,918 " | 35,873 " | 26,508 " |
| オルゴール | 24,345 " | 12,989 " | 9,572 " |
| 起上りシーソー | 14,850 " | 30,335 " | 42,302 " |
| メリー風車 | 23,907 " | 45,112 " | 21,755 " |
| 小物玩具 | 58,335 " | 80,397 " | 55,544 " |
| その他玩具 | 22,211 " | 71,185 " | 47,111 " |
| アセチ | | | 1,072千円 |
| オルゴール | | | 1,672 " |
| 動物 | | | 3,342 " |
| メリー風車 | | | 2,423 " |
| その他玩具 | | | 82 " |

28年以降は、仕向け国別にも分類されています。これらの統計資料はセルロイド

ドハウス横浜館2Fにも在庫します。この他にも大日本セルロイドを初めとしてセルロイドの会社・団体の社史や業界史が揃えてあります。

上表ではセルロイド人形パープー(パープー)の数字が特に浮き出ています。パープー人形のことをもって詳しく知りたいと思いました。

しかし昭和20年8月から27年4月まで米軍の占領下にあったために20~24年の統計が見当たりません。そこで Occupied Japan 日本がアメリカに占領された時の下記の出来事を列挙して当時を振り返ってみた次第です。。

昭和20(1945)年

8月15日正午、昭和天皇が戦争終結の証書をラジオ放送。日本が無条件降伏、対日ポツダム宣言受託、第二次世界大戦が終結。このとき私は県立中学2年の夏休みでした。あれから69年経た今日も、天皇の玉音が私の耳からはなれません。

8月30日 連合軍最高司令官マッカーサー、厚木に到着。 連合軍総司令部(GHQ)を横浜から東京・日比谷の第一生命ビルに移す。

9月27日 昭和天皇、マッカーサーを訪問。

10月9日 輸出入、すべてGHQの許可制となる。

30日 GHQ、軍国主義教員の即時追放を指令

11月2日 GHQ、15財閥の資産凍結・解体を指令

17日 政府、米麦の完全供出措置を決定

18日 GHQ、国内民間航空を全面的に禁止

12月15日 GHQ、国家と神道の分離を指令

この年の流行語が、メチルアルコール中毒、闇市、食糧危機、輪タク

<ポツダム少尉><復員><マッカーサーの命により><4等国>など

昭和21(1946)年

1月4日 GHQ、軍国主義者の公職追放、27の超国家主義団体を解散指令

20日 GHQ、賠償施設として400軍事工場の管理を指令

29日 GHQ、奄美以南の琉球列島など南方諸島に対する日本の行政権を停止

2月3日 マッカーサー、天皇制存続・戦争放棄・封建制撤廃の3原則に基づく憲法草案の作成をGHQ民政局に指示。

3月 1日 米務省、日本の輸出を対米関係に限定と表明。

(現物1個1個に Made in Occupied Japan の刻印することを義務付け)

4月26日 人口調査、総人口7,311万人、男3,490万人、女3,820万人

5月3日 極東国際軍事裁判所開廷(東京・市ヶ谷)

- 10日 東京の主食遅配18日をごえる。米よこせ区民大会が起きる。
- 6月20日 貿易等臨時措置令公布。民間貿易を正式に廃止。
- 9月24日 GHQ、財閥解体に関する具体的方針を発表。3大財閥の所有有価証券約30億円を持株整理委員会に移管など。
- 11月3日 日本国憲法公布。

27日 GHQ、10大財閥の家族の資産10ヵ年凍結を指令。
 「露店・闇市の2月ごろの相場」 リンゴ2個10円。しるこ1杯 10円。するめ1枚 4円。ふかしカンショ1個 1円。ネギ7本10円。ダイコン1本 8円。軍用靴下1足 20円。白足袋1足 40円。

* 米軍の空爆罹災者は掘建て小屋に住み、国民全体が食糧難に喘いでいた。

昭和22(1947)年

- 1月 4日 公職追放令改正、言論界、地方公職・財界などに追加範囲を拡大。
- 16日 全官公庁労組共闘委員会、2月1日零時無期限スト突入を宣言。
- 31日 GHQ、2,1ゼネスト中止指令。
- 3月4日 GHQ、日本綿製品輸出開始と発表。
- 12日 (米)トルーマン大統領「トルーマン・ドクトリン」を発表。ソ連の共産主義と対決を鮮明にする。自由世界の盟主として戦略的支援に踏み出す。その対象は中東、中国国民政府、日本があった。
- 5月3日 日本国憲法施行。
- 8月4日 最高裁判所発足。10・1初開廷。
- 9月14日 キャサリン台風、死者2,247人。(1946~52の台風名・西欧女性名)
- 10月8日 電球を1世帯1個配給。
- 11月4日 片山首相、農相平野力三を罷免(社会党内で紛糾の末)
- 12月18日 過度経済力集中排除法公布(49.6.30までの時限立法) 25日 ラヴィット米國務次官・日本の財閥解体はおおむね完了と声明。

昭和23(1948)年

- 1月6日 ロイヤル米陸軍長官、日本を強い民主国家に育て、共産主義の防壁にすると演説。
- 米国、日本占領政策を変換
- 3月1日 GHQに解散させられていた理化学研究所、株式会社として発足。
- 4月4日 GHQが祝祭日に国旗掲揚許可。
- 5月18日 米陸軍省、日本軍需工場温存の方針を発表。
- 7月17日 大韓民国(韓国)成立。9・9朝鮮民衆主義人民共和国(北朝鮮)成立・
- 9月16日 マッチが8年ぶりに自由販売に(10.8電球・万年筆など111種も)

12月6日 国連極東委員会、日本の貿易拡張を勧告。

24日 岸信介らA級戦犯容疑者19人釈放。

昭和24(1949)年

2月1日 ロイヤル米陸軍長官・ドッジ公使来日。16日 第3次吉田茂内閣成立

3月7日 ドッジ米公使、日本経済安定策を発表(ドッジライン)

4月28日 GHQ、日本円に対する公式為替レートを発表(1ドル=360円)

7月4日 マッカーサー、(日本は共産主義の防壁)と声明。

10月1日 中華人民共和国成立。主席毛沢東、総理周恩来。

11月1日 米國務省、対日講和条約起草準備中と発表。3日 湯川秀樹、日本人として初のノーベル賞を受賞。

12月10日 蒋介石、台湾に移り総統復帰。

{輪タク全盛} 自転車と人力車のあいこのこのような輪タクが急増し全国で1万3,000余台。料金は1km25円だが、実際はその2倍程度。

昭和25(1950)年

1月1日 マッカーサー、年頭の辞で日本の自衛権を強調。

4月10日 私、新制・埼玉大学入学(GHQにより各県に国立・4年制1校を開校)

6月6日 マッカーサー、共産党中央委員24人の公職追放を指令。25日一朝鮮戦争勃発。北朝鮮軍、北緯38度線を突破。

7月8日 マッカーサー、警察予備隊の創設・海上保安庁の増員を指令。

10月3日 韓国軍、38度線突破。8日 国連軍38度線突破、北朝鮮に進入。

11月21日 GHQ、朝鮮戦争勃発以来の特需累計発表(1億4,377万2000ドル)

昭和26(1951)年

1月25日 ダレス講和特使来日。吉田首相と3回会談。2・11 離日。

4月11日 [米]マッカーサー国連軍最高司令官を罷免、リッジウェーが後任。

7月10日 {朝鮮}開城で朝鮮休戦会談が開催。

9月8日 サンフランシスコで対日講和条約調印(49ヵ国が調印、ソ連・チェコ・ポーランドは調印拒否)

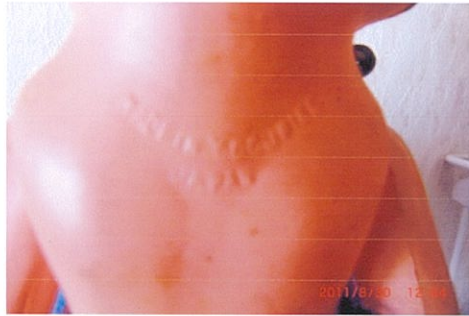
日米安全保障条約調印。

昭和27(1952)年

4月28日 対日講和城郭・日米安保条約発効。

対米輸出品に Made In Occupied Japan の刻印が不要になる。

* * * * *



左写真はパープー（パープー）身長31cmです。背中に Made In Occupied Japan の刻印があります



犬の腹部のオキュパイドジャパンの文字は、こすっても消えません。文字が陶器の中に刷り込まれています。

この陶器の犬は、友人がアメリカの骨董市で買ってきたものです。

写真のパープーは、日本のネット上に販売広告が出ていたので、代金を振り込んだところ間もなくアメリカから航空便で送られてきたものです。「腰の鳥の毛は、持ち主のアメリカの少女が付けたものです」と注意書きが同封されてありました。



現在、アメリカでは骨董市が盛んで、日本からも多くの骨董屋が参加しています。アメリカと日本の骨董屋同志の提携もあるようです。

来年2015年は、第2次大戦終結後70年になります。オキュパイド・ジャパン は、実質その中の5年間だけでした。

この刻印のある品物は、日本が外国に占領されていた事実を証明する証拠です。希少価値が益々上がる、と思われます。



上の写真は、横浜館1Fにて現在展示中の、ガラスの中のセルロイド人形・パープー達です。

向って左端のバイオリン弾きのパープーの背中に、オリエンタル・トイさんのマークと「MadeJapanPatent 3214」の刻印があります。



他の4体は、何れもドレスを着ています。中島製作所さんの亀マークが2体あります。4体ともアメリカのお嬢さん達がドレスを着せたものでしょう。日本の港を出た時は皆が裸だったのでしょうか。

アメリカのお嬢さん達は、裸のパープーを自分の妹のように思い、色々なドレスを着せ替えして楽しんでいたのでしょ。

右の双子のパープーは、横浜館2F図書室で閲覧できます英文の豪華本 CELLULOID に載っている写真です。このセルロイド加工者もオリエンタル・トイさんのようです。バイオリンのパープーと双子のパープーは一連の商品シリーズ、 になっていると思わ



れます。しかしこの楽器を抱えたパープー達では、アメリカのお嬢さん達に、種々のドレスを着せ替えや羽毛の植え込みなどの楽しみを与えられないのでは、と心配してしまいました。



左写真のパープー4体とも、可愛い洋服が汚れましたので、現在修理中です。間もなく新しくドレッシングしたパープー4人がセルロイドハウス横浜館に飾られます。

下の写真の現物は、10年前から横浜館2Fの展示品ガラスの中に収まっています。



羽毛を一杯付けています。セルロイド生地は、縫い針や千枚通しの先で簡単に小さな穴を開けることが出来ます。セルロイド生地は穴を開けても、ひび割れしないので、釘を多量に打つパチンコの飾り板に大量に使われました。

セルロイド人形・パープーは右上写真のようにゴールデンヘヤーです。右上の背中をアップした文字を読めますか。小林大作商店さんのマークの下に

Made In Occupied Japan の刻印があります。

続きは次稿にいたします。H26, 12, 15